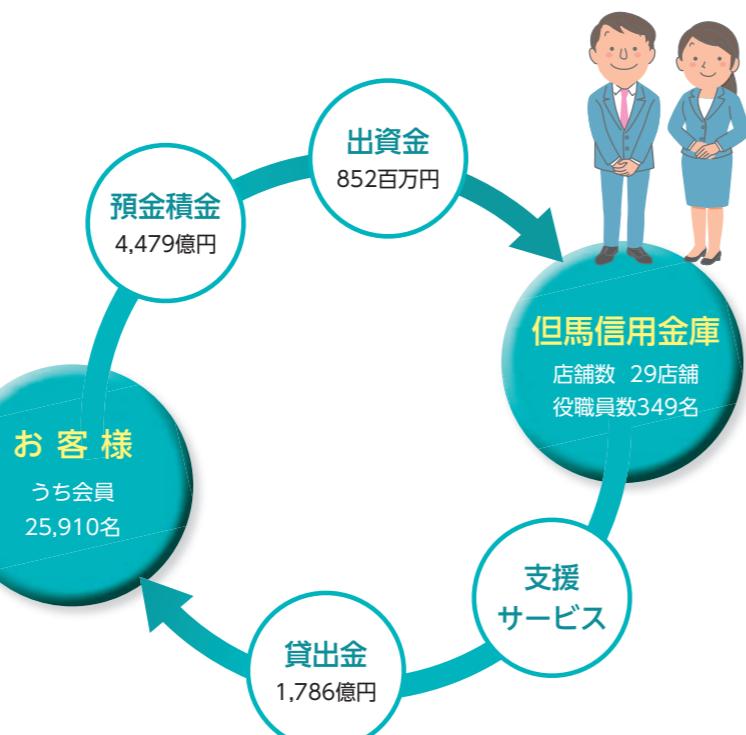


地域に信頼され 必要とされる金庫をめざします。

当金庫の地域経済活性化への取組みについて

信用金庫は、地域の皆様方からお預かりした資金を地域で必要としておられる方々や地元中小企業にご融資することを通して、皆様の生活向上や事業の発展、地域経済の活性化のお手伝いをすることを使命とする、地域で生まれた地域のための金融機関です。

たじまは地域のお客様からお預りした大切な資金（預金積金）を、地元で資金を必要とするお客様に融資を行って事業の繁栄や生活のお手伝いをしています。また、地域社会の一員として、預金や融資などの金融機能を提供するだけでなく、文化、環境、教育、観光といった面に加えて、地場産業の活性化や人口減少対策などの地域課題の解決に地元自治体や各団体などと連携を深めて取組んでいます。

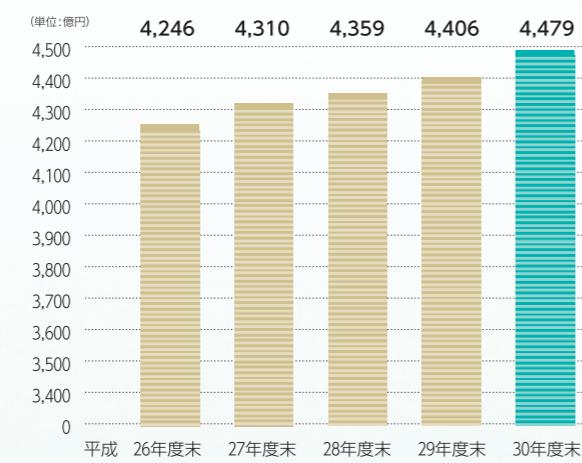


お客様のご預金について

当金庫の平成30年度末の預金積金残高は4,479億円です。お客様からお預かりした大切な預金は、皆さまから信頼をいただいている証であり、当金庫ではお客様の大切な財産を安全・確実に運用しております。

また、お客様の資産づくりをお手伝いさせていただくため、目的や期間に応じて各種預金を取り揃えております。

預金の推移



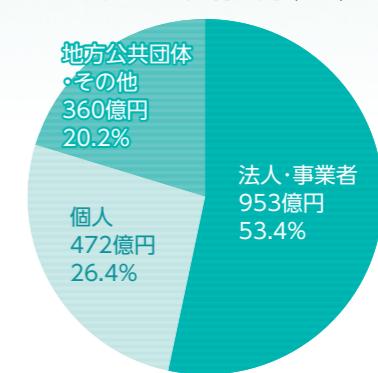
お客様へのご融資について

平成30年度末における当金庫の貸出残高は、1,786億円で、使途別残高は図Aのとおりです。そして、貸出金の人格別残高と構成比は、図Bに示しています。また、預金積金に対する貸出金の割合（預貸率：末残）は39.87%となっています。

貸出金使途別残高 (図A)



貸出金人格別残高 (図B)



融資を通じて地域金融機関の責務を全うします

当金庫の立意の意義は、「金融効率を高め、良質で安定した資金を豊富に供給し、地域社会繁栄への貢献と奉仕にある」と認識し日々努力しております。また、貸出資産の健全性を確保するため、特定の業種や地域に偏ることなくバランスのとれた融資を心掛けております。

- 融資を通じて
 - ① 地域のお客様の生活を豊かにする
 - ② 中小企業の健全な育成を支援する
 - ③ 地域の開発発展に貢献する

平成30年度決算について

当金庫の損益状況は、資産の健全性確保のために諸償却並びに諸引当金の繰入れを行い、資金の効率的な運用、経営全般の合理化に努めました結果、前期比2億33百万円減少して11億3百万円の利益計上となりました。なお、本来業務から得られる業務純益は、運用環境が厳しい中、貸出金の増強、諸経費の削減などにより前期比3億51百万円増加して12億56百万円となりました。一時的な変動要因を除いたコア業務純益は前期比53百万円増加して5億66百万円となりました。

今後も安定的な収益確保により経営基盤の強化を目指してまいります。

*業務純益とは、金融機関の本来業務である貸出金や預金、投資信託・個人年金保険の窓口販売などの業務から得られる利益です。

*コア業務純益とは、業務純益から一時的な変動要因である債券関係損益と一般貸倒引当金繰入額を除いたものです。

自己資本比率について

自己資本比率は、金融機関の経営の健全性を示す重要な指標の一つとされ、当金庫では、お客様に安心してお取引頂けるよう、自己資本の充実と自己資本比率の向上に努めております。

平成30年度末の自己資本比率は25.01%で、引き続き高水準を維持することができました。この数値は早期は正措置で義務付けられている自己資本比率4%（国内基準）を大幅に上回っています。また、金融業界においても高位の比率を確保し、当金庫の健全性を示すものであります。

自己資本比率の推移と基準の比較

